



広報

いきりいし

令和4年11月16日

第37号

発行 切石区自治会  
編集 広報委員会  
印刷 ヨシザワ印刷(株)

令和4年9月30日現在 切石区の人口 2,271人 (男性 1,098人 女性 1,173人) 組合加入 645戸 (世帯数 945戸)



## 天伯神社参道の通学路

現在(上)と68年前(右)の写真は同じ場所です

(右) 私は誰でしょう 68年前の私

関連記事3面



## 新年度前期を振り返って

区長 前澤清隆

事業の殆どができない中で春の獅子舞は2日間共開催できませんでした。2年間開催できなかったことを忘れさせるような、区民皆がコロナ終息を期待する素晴らしい御舞を披露してくれました。

7月24日には子ども夏まつりが開催できました。コロナの影響を受けて参加人数から寂しかった気もしますが、夕方からゲームを、そして花火を楽しんでもらいました。役員をはじめ、壮年団・PTAの皆様が一致団結して力を合わせて活動してくれました。感謝で一杯であります。次回に繋げていただければ幸いです。9月4日には防災訓練を開催できました。コロナの影響を受け飯田市と鼎まちづくり委員会の訓練は中止となりましたが、切石区では役員と日赤奉仕団の参加をいただき、危機管理室の後藤課長から5月12日に行われた令和4年度飯田市自主防災リーダー養成研修の自主防災活動の勘所とコロナ

禍における避難所開設運営と題した内容のものをDVD化していただき、それを視聴することで防災訓練としました。防災訓練は中止するのではなく何等かの形の訓練をすることが必要です。それは何時・何処で、どのような事が起きるかも判らないという、判断も付かないような事が起きるからです。訓練で経験を重ねることで判断力が養われ身に着くと云います。日頃から訓練を重ねる自分のものにする、いざという時の役に立つ筈です。

9月19日には敬老の祝賀行事を行い、永きに渡り切石区の自治会活動に一方ならぬご尽力を頂戴した皆様に感謝の意を込めた記念品をお渡ししました。団塊の世代が高齢を迎え、少子高齢化が進み、また、コロナの影響もありその状況で判断された内容が祝賀会中止という結論となりました。どうかご理解をお願いいたします。



**9月4日**  
**地震防災訓練は**  
**自主防災会研修に**

自主防災会  
 副会長 村澤 英彦

この地区には、飯田市の防災訓練、鼎地区の防災会訓練、切石区防災会の3つの防災訓練があり、それぞれが連携して防災の一連の流れを作って実践的訓練となっています。

今回、長野県の新型コロナウイルス感染警戒レベルが上がり、すべて中止せざるを得ない状況となりました。しかし、切石区は、密になりそうな訓練は中止し、災害はいつ起こるかわからないという思いから、切石自主防災会の役員研修に切り替えました。お互いの間隔を大きく開けて、飯田市危機管理課のDVDを見て学びました。まずは自分や家族が助かること、その上で、地域で助け合うこと、いざという時に機能するために平時の備

えと訓練が役立つ基礎的地域防災力（コミュニケーション力）が肝要です。そして地区防災対策本部が行うべきこととして、調達（人・モノ）、調整（組織、場所、金）、外部支援の受け入れ、地区の状況に合わせた情報発信があります。危機管理は「課程」であり、危機と管理する水準を継続的に向上させることであるとうたっています。

切石区の喫緊の課題として切石区の現実、現場に合わせた訓練、備えが必要であると感じました。



**妙琴公園**  
**もみじ植樹エリア**  
**管理作業**

建設・山林部長  
 下平 克己

7月3日8時半から、区役員と建設山林部が集まり妙琴公園もみじ切石管理エリアの草刈りを行いました。

松川河川敷堤防草刈り作業に続いての作業でしたが、日曜日が何回もつぶれるよりは一日で済ませた方が良いとの声もあり、堤防草刈りを終えてから妙琴公園に集まっての作業となりました。

もみじが大きくなって日蔭が多くなったおかげで草は以前より大分少なくなりましたが、もみじ以外の雑木も鎌では刈れ

ない物も多くなり、草刈り機で何とか切つての片付けが大変でした。

**敬老祝賀**  
**記念品贈呈**

健康福祉部長  
 岡庭 保人

今年度は期初より、敬老祝賀の実施方法について部会、役員会で検討を



今年度の記念品▶



重ねてきました。その結果、参加者が限られる祝賀会は取り止め、その分を敬老記念品に振り向けることで、ちよっぴり豪華な品物を80歳以上、267名の方に、区役員・健康福祉部員が、一戸毎訪問して贈呈させていただきました。

記念品は、和菓子6種の詰合せです。ご意見やご要望等ございましたら各班健康福祉部員宛お知らせいただければ幸いです。



# 協力に感謝!! 子ども夏まつりを 終えて

切石公民館・教育文化部長  
澤柳厚司

短すぎる梅雨が連れて来た長く暑い夏でした。

楽しみが、いっぱい詰まった子どもたちの夏休みに向けて、企画2年目の今年も、切石区役員総出で取り組みました。

P.T.Aや壮年団、切石煙火にご協力を頂きながら、順調に準備が進みましたが、いよいよ来週から夏休みという頃、新型コロナウイルスが暴れだしました。

やり遂げたい一心から、当日参加者全員の抗原検査を実施しました。慌ただしくも無事に開催できましたのは偏に子ども夏まつり実行委員全員の協力の賜物です。

結果として予定したよりは、かなり少ない来場者となつてしまいました。子どもたちの笑顔と実行委員の協力が光った、とても素晴らしい夏のひと時でした。



手持ち花火



ナイアガラ



仕掛け花火



## 鼎中ボランテニア 総務 嶋村 浩



鼎地区の様々な地域活動に中学生が主体的に参加して地域に貢献できる場面を創出するための仕組みとして、今年度より鼎中学校ジュニアボランティアステーションが創設されました。

切石区でも7月3日の水辺の美化活動の際に1名が組合の方と一緒に道路沿いの草刈り・ゴミ拾い、7月24日の切石区子



ども夏まつりでは3名の生徒に役員と一緒に受付を行っていただきました。これからも様々な区の活動に協力していただけることを期待しています。

### 3年目の通学路

子どもを育む部長  
小澤澄子

途中まで親に連れて来てもらっていた男子達が、今では「おはよう」の声と共に中央道高架下の坂道を駆け登って行く。大橋トンネルを越え、「行つてらっしゃい」の声掛けに手を振って答えてくれる仲良し女子達。大きなランドセルで小走りに必死で後を追っていた子が、雪道で「そっちは氷つているよ」と誘導してくれた。

加藤・森・原の三氏が長年築き上げてくださった成長の絆が、これからも続いていくと確信して金木犀の薫る路を歩いた。





# リニア中央新幹線 工事現場を見て

リニア切石区対策委員会  
室長 村澤英彦

7月19日にリニア中央新幹線の工事現場及び周辺の視察に行ってきました。運搬道路の状況、妙琴公園の状況、工事現場周辺、トンネル工事と、工事担当者から丁寧の説明をいただきました。

初めて入る工事現場は、そのスケールの大きさにまず驚きました。そして排水対策、粉塵対策、水害対策等の環境対策も丁寧にされていて、その誠実な行動ぶりに安



心を超え、「ここまでするのか」と思いました。安全対策、事故防止策を徹底してこれからも安全な工事に努めるとの話があり、現場を見て説明を聞き、工事関係者の思いに大変ありがたく思いました。この国策とも言われる工事現場を区民の皆さんも見ることがあればと思いました。

23.3kmのうちの松川工区(4.9km)に着工しました。中央アルプストンネル(松川)、風越山トンネル(黒田)松川橋梁も2026年に完成の予定だそうです。



## 令和4年天伯八幡神社秋季祭典 奉納煙火打上げ実行委員会

詳しくは「広報きりいし」に掲載

- 相談役 前田雄二 ◎正◎副
- 顧問 前澤清隆
- 実行委員長 矢澤英峰
- 副実行委員長 松下善彦・間瀬克郎
- 総務部会 ◎村澤英彦 ○村澤通雄
- 会計部会 ◎福岡久男 ○遠山良平
- 渉外部会 全体 ◎尾沢英治 ○佐久間幸一
- 煙火部会 ◎伊藤英治 ○加藤和行
- 警護部会 ◎下枝信幸 ○菅沼祐一
- 神輿部会 ◎島岡幸夫 ○平澤勝文
- 子どもイベント部会 ◎中島富士夫
- 会場部会 ◎辰巳勝治 ○原和彦
- 放送部会 ◎征矢照美 ○山崎哲太郎
- 進行・審査部会 ◎村澤憲治 ○村澤健一
- 接待部会 ◎松沢貞男 ○梅田実
- 救護部会 ◎村澤和子 ○長谷部順子
- 車両運行部会 ◎大前一男 ○土屋勉
- 記録部会 ◎藤原克弘 ○森一美
- 監事 ◎木下猛夫 ○安江玉司



後列左より 村澤通雄・村澤英彦・澤柳厚司・福岡久男  
中列左より 藤原克弘・村澤憲治・征矢照美・下枝信幸・尾沢英治・木下猛夫・渡辺政雄  
前列左より 松沢貞男・辰巳勝治・間瀬克郎・松下善彦・矢澤英峰・前澤清隆・前田雄二・伊藤英治

### 切石区自治会日誌

4年4月5日9月

4・3 監査会

4・10 5・11

天伯神社春季祭典

4・24 切石区自治会定期総会

5・15 区有林立木調査

5・29 春のごみゼロ運動

6・30 妙琴公園将来構想策定委員会

7・3 水辺美化活動

7・3 妙琴公園管理作業

7・15 リニア工事視察

7・24 切石子ども夏まつり

8・30 市長と語るまちづくり懇談会

9・4 地震防災訓練

9・9 切石獅子舞100周年記念実行委員会

9・18 5・19

敬老お祝い品配布

毎月1回

リニア対策委員会

### 編集後記

コロナの動向を見据え、自治会活動は徐々に復活しつつあります。ただ、敵もさる者、なかなか収束まで至らないのがもどかしい限りです。

今年も残すところ約1か月、忘年会できるかなあ。

(広報副委員長 岡庭保人)